

「でも・なら」先生の時代がやってきた？

前杉並区教育長 井出隆安

・ 小学校教員養成課程の定数削減

- ・ 1987年 新課程「ゼロ免課程」
- ・ 1998年 国立大学小学校教員養成課程5000人定数削減

・ 小学校教諭一種免許状を取得できる私立大学の増加

- ・ 2005年規制緩和（私大参加）50校 → 2020年 190校

・ 小学校教員の層が変わってきた・・・

- ・ 学校現場からの声や研究者の調査等

先生が足りない（量の確保）

「担任がいない・・・」、「なんとかしなくては・・・」

- ➔ 採用試験の簡略化
- ➔ 免許がなくても採用・・・（採用後2年間で取得）
- ➔ 「ペーパー・ティーチャー」の掘り起こし
- ➔ 試験時期の前倒し（大学3年時）

- ・ 「でも・しか」先生

- ➔ 先生にしかなれない
- ➔ 先生にでもなるしかない

- ・ 「でも・なら」先生

- ➔ 教員養成系大学（学部等）に入り易い
- ➔ 教員免許が取得し易い ➔ 誰でも先生になれる
- ➔ 採用倍率が低く、合格し易い ➔ 先生にならなれる

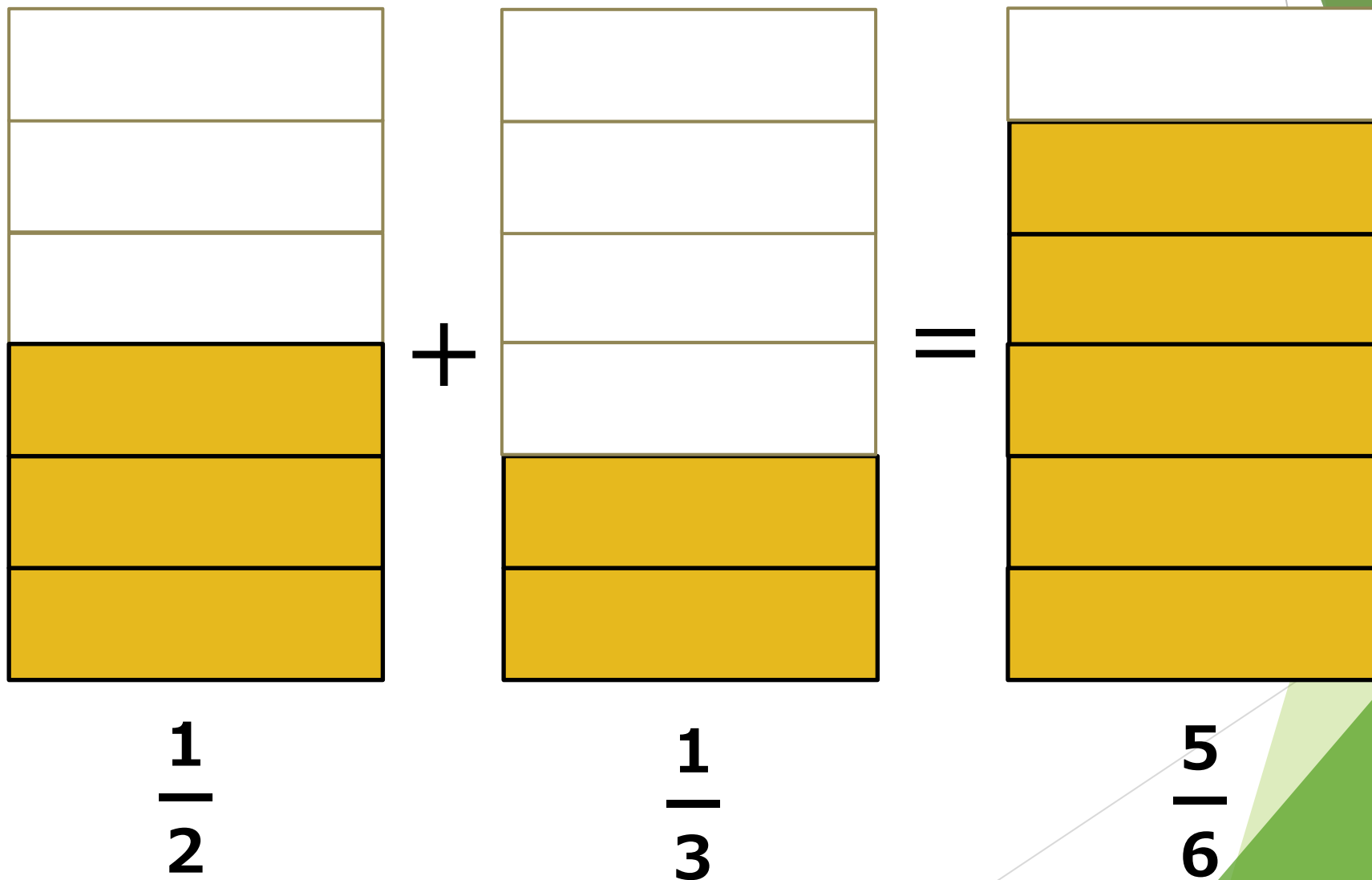
先生の指導力は大丈夫かな？（質の担保）

- ➔ 養成段階（大学等）
- ➔ 採用時（採用試験）
- ➔ 採用後（現職研修）
 - ・ 研修制度（新任研修、3年次研修、10年次研修）
 - ・ 教育委員会主催の研修
 - ・ 自主的研修（校内研修、各種研究研修団体等）
 - ・ 教職大学院等

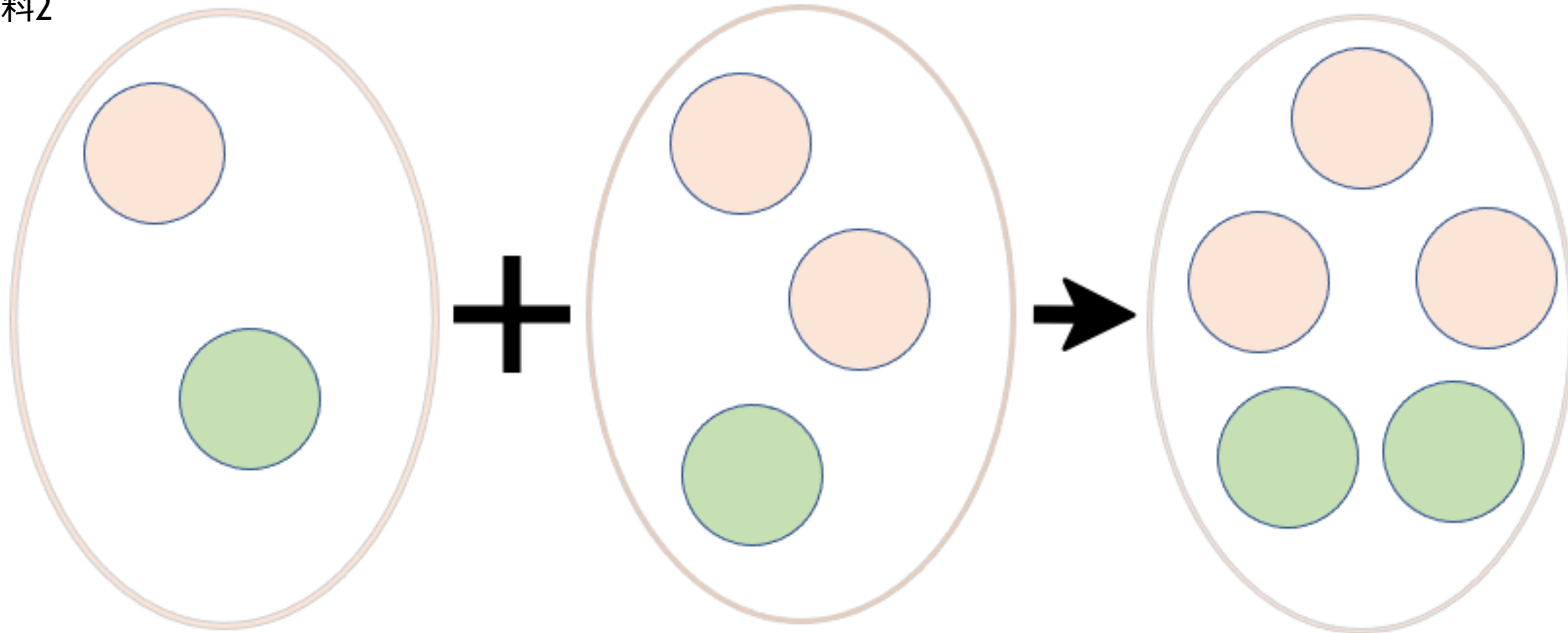
「先生」を育てる

- ・ 教員養成大学の役割と責任
- ・ 専門職集団（現場）の「自己教育力」への期待
 - * 職能団体（ギルド）としての教員（研修）組織の再生
 - * 「同僚性」の再生
 - * 多忙化の解消（働き方改革・業務軽減）
 - * 研究・研修時間の確保

資料1



資料2

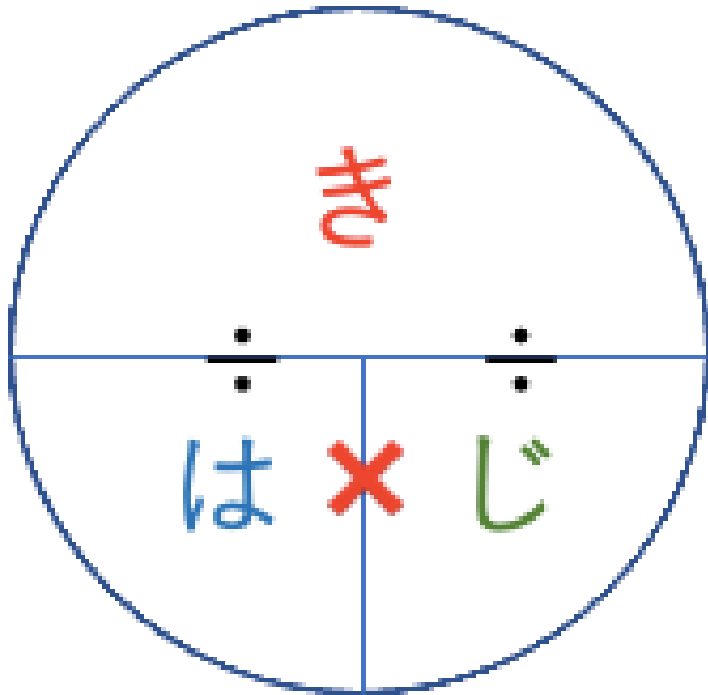


$\frac{1}{2}$

$\frac{1}{3}$

$\frac{2}{5}$

「は・じ・き」は危ない



「は」 → 速度 = 距離 ÷ 時間

「じ」 → 時間 = 距離 ÷ 速度

「き」 → 距離 = 速度 × 時間

資料 4

- $12 - 7 = 5$
- $17 - 9 = 2$
- $13 - 8 = 5$
- $15 - 9 = 4$
- $11 - 6 = 5$